

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鳥取県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	厚生病院	3
鳥取市	市立病院	4
岩美町	国保岩美病院	5
智頭町	国保智頭病院	6
南部町	西伯病院	7
日南町	日南町国民健康保険 日南病院	8
日野病院組合	日野病院	9

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名					
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	53,874 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	39	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	504	77.2	80.2	85.6
療養	-	-	-	-
結核	10	0.1	7.2	10.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	44.3	-	-
計	518	75.5	78.2	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	12.6	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	553,407	
決算規模(千円)	374,788,937	
標準財政規模(千円)	213,986,218	
財政力指数	0.28689	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	134.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,964,672			
1 経常収益	17,456,922			
(1) 医業収益	14,734,256			
入院収益	10,440,750			
外来収益	3,648,317			
診療収入計	14,089,067			
その他医業収益	645,189			
(うち他会計負担金)	315,428			
(2) 医業外収益	2,722,666			
(うち国・都道府県補助金)	981,369			
(うち他会計補助・負担金)	873,831			
(うち長期前受金戻入)	548,107			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	507,750			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,747,603			
2 経常費用	17,660,819			
(1) 医業費用	16,634,075			
職員給与費	7,980,628	54.2	62.1	55.8
材料費	4,586,479	31.1	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,106,773	14.3	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,383,430	16.2	11.4	13.0
減価償却費	2,041,844	13.9	9.5	8.7
経費	1,987,636	13.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,127,184	7.7	12.6	12.6
研究研修費	28,410			
資産減耗費	9,078			
(2) 医業外費用	1,026,744			
(うち支払利息)	158,813	1.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	2,086,784			
損益				
経常損益	-203,897			
純損益	-1,782,931			
累積欠損金	3,927,056			
経常収支比率	98.8		101.9	102.5
医業収支比率	88.6		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,335,005
1 固定資産	39,265,113
(1) 有形固定資産	36,189,148
(2) 無形固定資産	35,812
(3) 投資その他の資産	3,040,153
2 流動資産	12,069,892
(1) 現金及び預金	7,436,077
(2) 未収金及び未収収益	4,417,096
(3) 貸倒引当金()	9,219
(4) 貯蔵品	210,611
3 繰延資産	-
負債合計	42,293,590
1 固定負債	34,774,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,503,580
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,257,494
(7) リース債務	13,538
2 流動負債	5,775,146
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,761,097
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,161
(6) リース債務	15,280
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,259,256
(9) 前受金及び前受収益	4,189
3 繰延収益	1,743,832
(1) 長期前受金	8,529,390
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,785,558
資本合計	9,041,415
1 資本金	16,630,179
2 剰余金	-7,588,764
(1) 資本金剰余金	10,757
(2) 利益剰余金	-7,599,521
負債・資本合計	51,335,005
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	14,418,828

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,649,743	1,189,259
資本勘定繰入	513,870	418,235
計	2,163,613	1,607,494

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名					
病院名	厚生病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,734 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	72.1	81.4	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	71.1	80.4	80.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	12.9	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	553,407	
決算規模(千円)	374,788,937	
標準財政規模(千円)	213,986,218	
財政力指数	0.28689	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	134.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.9
修正医業収益(千円)	6,800,532

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,268,587			
1 経常収益	9,102,608			
(1) 医業収益	6,894,145			
入院収益	4,743,506			
外来収益	1,902,841			
診療収入計	6,646,347			
その他医業収益	247,798			
(うち他会計負担金)	93,613			
(2) 医業外収益	2,208,463			
(うち国・都道府県補助金)	1,348,052			
(うち他会計補助・負担金)	498,219			
(うち長期前受金戻入)	220,975			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	165,979			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,091,332			
2 経常費用	7,904,157			
(1) 医業費用	7,478,120			
職員給与費	4,203,368	61.0	62.1	63.5
材料費	1,598,948	23.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	935,385	13.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	660,312	9.6	11.4	11.8
減価償却費	475,717	6.9	9.5	10.0
経費	1,188,887	17.2	22.7	21.7
(うち委託料)	712,433	10.3	12.6	12.2
研究研修費	7,881			
資産減耗費	3,319			
(2) 医業外費用	426,037			
(うち支払利息)	84,550	1.2	1.3	1.4
(3) 特別損失	187,175			
損益				
経常損益	1,198,451			
純損益	1,177,255			
累積欠損金	3,672,465			
経常収支比率	115.2		101.9	101.7
医業収支比率	92.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	107.7		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	51,335,005
1 固定資産	39,265,113
(1) 有形固定資産	36,189,148
(2) 無形固定資産	35,812
(3) 投資その他の資産	3,040,153
2 流動資産	12,069,892
(1) 現金及び預金	7,436,077
(2) 未収金及び未収収益	4,417,096
(3) 貸倒引当金()	9,219
(4) 貯蔵品	210,611
3 繰延資産	-
負債合計	42,293,590
1 固定負債	34,774,612
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,503,580
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,257,494
(7) リース債務	13,538
2 流動負債	5,775,146
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,761,097
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	624,161
(6) リース債務	15,280
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,259,256
(9) 前受金及び前受収益	4,189
3 繰延収益	1,743,832
(1) 長期前受金	8,529,390
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,785,558
資本合計	9,041,415
1 資本金	16,630,179
2 剰余金	-7,588,764
(1) 資本金剰余金	10,757
(2) 利益剰余金	-7,599,521
負債・資本合計	51,335,005
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,717,077	591,832
資本勘定繰入	238,923	203,636
計	1,956,000	795,468

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				鳥取県
市町村・組合名	鳥取市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	23,839 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	23	指定病院の状況	救臨がへ地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	340	72.6	73.8	74.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	340	72.6	73.8	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.6	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	188,465	
決算規模(千円)	129,905,614	
標準財政規模(千円)	50,938,852	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	68.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.2
修正医業収益(千円)	6,536,733

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,664,415			
1 経常収益	8,472,306			
(1) 医業収益	6,714,017			
入院収益	4,666,180			
外来収益	1,540,872			
診療収入計	6,207,052			
その他医業収益	506,965			
(うち他会計負担金)	177,284			
(2) 医業外収益	1,758,289			
(うち国・都道府県補助金)	1,006,477			
(うち他会計補助・負担金)	506,958			
(うち長期前受金戻入)	134,418			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	192,109			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,335,741			
2 経常費用	8,191,794			
(1) 医業費用	7,762,577			
職員給与費	4,639,140	69.1	62.1	63.5
材料費	1,471,615	21.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	695,500	10.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	735,160	10.9	11.4	11.8
減価償却費	501,026	7.5	9.5	10.0
経費	1,038,299	15.5	22.7	21.7
(うち委託料)	647,424	9.6	12.6	12.2
研究研修費	106,702			
資産減耗費	5,795			
(2) 医業外費用	429,217			
(うち支払利息)	122,738	1.8	1.3	1.4
(3) 特別損失	143,947			
損益				
経常損益	280,512			
純損益	328,674			
累積欠損金	10,399,751			
経常収支比率	103.4		101.9	101.7
医業収支比率	86.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	95.1		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,391,788
1 固定資産	7,605,842
(1) 有形固定資産	7,522,388
(2) 無形固定資産	4,917
(3) 投資その他の資産	78,537
2 流動資産	2,785,946
(1) 現金及び預金	1,216,333
(2) 未収金及び未収収益	1,494,807
(3) 貸倒引当金()	8,332
(4) 貯蔵品	76,132
3 繰延資産	-
負債合計	6,970,498
1 固定負債	4,743,952
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,423,669
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,315,209
(7) リース債務	5,074
2 流動負債	1,805,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,028,892
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	314,979
(6) リース債務	7,355
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	417,146
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	421,003
(1) 長期前受金	1,612,077
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,191,074
資本合計	3,421,290
1 資本金	13,821,041
2 剰余金	-10,399,751
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-10,399,751
負債・資本合計	10,391,788
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	682,444	684,242
資本勘定繰入	645,267	679,706
計	1,327,711	1,363,948

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	154.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	岩美町				
病院名	国保岩美病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,582 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	60	76.8	87.0	85.5
療養	50	87.1	85.5	85.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	81.5	86.3	85.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	20.4	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	10,799	
決算規模(千円)	8,230,541	
標準財政規模(千円)	4,386,256	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	84.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	28.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	1,629,801

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,045,706			
1 経常収益	2,004,906			
(1) 医業収益	1,668,924			
入院収益	800,359			
外来収益	748,262			
診療収入計	1,548,621			
その他医業収益	120,303			
(うち他会計負担金)	39,123			
(2) 医業外収益	335,982			
(うち国・都道府県補助金)	77,729			
(うち他会計補助・負担金)	227,789			
(うち長期前受金戻入)	20,002			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	40,800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,047,596			
2 経常費用	2,001,396			
(1) 医業費用	1,880,032			
職員給与費	1,015,696	60.9	62.1	67.4
材料費	355,555	21.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	278,283	16.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	74,072	4.4	11.4	8.8
減価償却費	156,125	9.4	9.5	10.7
経費	350,376	21.0	22.7	29.2
(うち委託料)	182,285	10.9	12.6	13.9
研究研修費	891			
資産減耗費	1,389			
(2) 医業外費用	121,364			
(うち支払利息)	53,344	3.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	46,200			
損益				
経常損益	3,510			
純損益	-1,890			
累積欠損金	1,074,193			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	88.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	86.8		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,804,715
1 固定資産	3,453,171
(1) 有形固定資産	3,429,721
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	23,450
2 流動資産	1,351,544
(1) 現金及び預金	1,089,156
(2) 未収金及び未収収益	243,014
(3) 貸倒引当金()	291
(4) 貯蔵品	19,665
3 繰延資産	-
負債合計	3,119,887
1 固定負債	2,496,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,496,560
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	445,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	242,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,598
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	121,838
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	178,169
(1) 長期前受金	414,345
(2) 長期前受金収益化累計額()	236,176
資本合計	1,684,828
1 資本金	2,759,021
2 剰余金	-1,074,193
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,074,193
負債・資本合計	4,804,715
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,339	266,912
資本勘定繰入	119,122	119,122
計	359,461	386,034

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	64.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	智頭町				
病院名	国保智頭病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	12,639 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	52	84.2	84.3	84.8
療養	47	94.1	94.1	87.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	88.9	89.0	85.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.5	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,427	
決算規模(千円)	7,566,132	
標準財政規模(千円)	3,796,545	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	70.2

損益計算書(千円%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,841,761			
1 経常収益	1,841,761			
(1) 医業収益	1,390,477			
入院収益	928,294			
外来収益	347,185			
診療収入計	1,275,479			
その他医業収益	114,998			
(うち他会計負担金)	19,487			
(2) 医業外収益	451,284			
(うち国・都道府県補助金)	136,501			
(うち他会計補助・負担金)	286,585			
(うち長期前受金戻入)	16,598			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,813,296			
2 経常費用	1,813,296			
(1) 医業費用	1,708,473			
職員給与費	1,090,656	78.4	62.1	78.9
材料費	173,304	12.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	48,617	3.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,810	6.4	11.4	6.0
減価償却費	141,078	10.1	9.5	11.7
経費	295,702	21.3	22.7	31.2
(うち委託料)	129,937	9.3	12.6	14.3
研究研修費	1,264			
資産減耗費	6,469			
(2) 医業外費用	104,823			
(うち支払利息)	54,952	4.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	28,465			
純損益	28,465			
累積欠損金	2,980,376			
経常収支比率	101.6		101.9	100.3
医業収支比率	81.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	22.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	84.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円%)	
区分	決算額
資産合計	4,719,757
1 固定資産	3,963,848
(1) 有形固定資産	3,955,380
(2) 無形固定資産	1,305
(3) 投資その他の資産	7,163
2 流動資産	755,909
(1) 現金及び預金	516,856
(2) 未収金及び未収収益	237,930
(3) 貸倒引当金()	1,004
(4) 貯蔵品	1,554
3 繰延資産	-
負債合計	3,725,968
1 固定負債	2,877,562
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,680,766
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	196,796
(7) リース債務	-
2 流動負債	418,535
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	245,212
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,609
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	108,569
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	429,871
(1) 長期前受金	563,295
(2) 長期前受金収益化累計額()	133,424
資本合計	993,789
1 資本金	3,831,660
2 剰余金	-2,837,871
(1) 資本金剰余金	142,505
(2) 利益剰余金	-2,980,376
負債・資本合計	4,719,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.2
修正医業収益(千円)	1,370,990

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	306,072	306,072
資本勘定繰入	141,991	141,991
計	448,063	448,063

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	214.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	南部町				
病院名	西伯病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	精神科病院	不採算地区病院			
建物面積	15,798 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	49	81.6	87.0	80.4
療養	50	77.3	86.3	84.2
結核	-	-	-	-
精神	99	79.6	80.3	83.5
感染症	-	-	-	-
計	198	79.5	83.5	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.8	22.6	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	10,323	
決算規模(千円)	9,542,507	
標準財政規模(千円)	4,414,954	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	19.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.3
修正医業収益(千円)	1,694,215

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,351,834			
1 経常収益	2,296,434			
(1) 医業収益	1,736,416			
入院収益	1,200,334			
外来収益	402,109			
診療収入計	1,602,443			
その他医業収益	133,973			
(うち他会計負担金)	42,201			
(2) 医業外収益	560,018			
(うち国・都道府県補助金)	111,114			
(うち他会計補助・負担金)	385,770			
(うち長期前受金戻入)	46,731			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	55,400			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,360,078			
2 経常費用	2,304,678			
(1) 医業費用	2,190,883			
職員給与費	1,396,249	80.4	62.1	104.8
材料費	155,250	8.9	25.3	8.7
(うち薬品費)	81,295	4.7	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,762	4.0	11.4	1.3
減価償却費	131,381	7.6	9.5	13.5
経費	504,145	29.0	22.7	33.3
(うち委託料)	284,824	16.4	12.6	18.6
研究研修費	3,198			
資産減耗費	660			
(2) 医業外費用	113,795			
(うち支払利息)	57,337	3.3	1.3	2.7
(3) 特別損失	55,400			
損益				
経常損益	-8,244			
純損益	-8,244			
累積欠損金	1,090,888			
経常収支比率	99.6		101.9	101.4
医業収支比率	79.3		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	24.6		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	18.2		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	81.1		89.3	66.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,531,540
1 固定資産	3,024,287
(1) 有形固定資産	3,017,887
(2) 無形固定資産	260
(3) 投資その他の資産	6,140
2 流動資産	507,253
(1) 現金及び預金	137,685
(2) 未収金及び未収収益	358,451
(3) 貸倒引当金()	3,046
(4) 貯蔵品	14,163
3 繰延資産	-
負債合計	3,374,992
1 固定負債	2,503,292
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,503,292
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	557,205
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	198,159
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	98,736
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	180,000
(8) 未払金及び未払費用	71,420
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	314,495
(1) 長期前受金	790,054
(2) 長期前受金収益化累計額()	475,559
資本合計	156,548
1 資本金	900,380
2 剰余金	-743,832
(1) 資本金剰余金	327,640
(2) 利益剰余金	-1,071,472
負債・資本合計	3,531,540
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	396,807	427,971
資本勘定繰入	75,712	89,998
計	472,519	517,969

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			鳥取県
市町村・組合名	日南町		
病院名	日南町国民健康保険 日南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,645 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	59	58.1	59.2	66.4
療養	40	78.0	78.2	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	66.1	66.9	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	16.0	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	4,196	
決算規模(千円)	7,731,112	
標準財政規模(千円)	3,495,092	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.7
修正医業収益(千円)	729,277

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,162,516			
1 経常収益	1,162,516			
(1) 医業収益	789,686			
入院収益	492,695			
外来収益	183,479			
診療収入計	676,174			
その他医業収益	113,512			
(うち他会計負担金)	60,409			
(2) 医業外収益	372,830			
(うち国・都道府県補助金)	49,756			
(うち他会計補助・負担金)	295,643			
(うち長期前受金戻入)	19,174			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,159,840			
2 経常費用	1,159,840			
(1) 医業費用	1,126,910			
職員給与費	682,242	86.4	62.1	78.9
材料費	69,493	8.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	30,044	3.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	39,449	5.0	11.4	6.0
減価償却費	72,599	9.2	9.5	11.7
経費	288,184	36.5	22.7	31.2
(うち委託料)	96,488	12.2	12.6	14.3
研究研修費	2,383			
資産減耗費	12,009			
(2) 医業外費用	32,930			
(うち支払利息)	5,158	0.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	2,676			
純損益	2,676			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		101.9	100.3
医業収支比率	70.1		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	30.6		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	45.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	30.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	69.5		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,723,709
1 固定資産	1,160,486
(1) 有形固定資産	997,711
(2) 無形固定資産	652
(3) 投資その他の資産	162,123
2 流動資産	1,563,223
(1) 現金及び預金	1,375,251
(2) 未収金及び未収収益	184,283
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,688
3 繰延資産	-
負債合計	907,175
1 固定負債	652,681
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	628,224
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,457
(7) リース債務	-
2 流動負債	162,016
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,119
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,666
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,731
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	92,478
(1) 長期前受金	246,779
(2) 長期前受金収益化累計額()	154,301
資本合計	1,816,534
1 資本金	843,075
2 剰余金	973,459
(1) 資本金剰余金	25,444
(2) 利益剰余金	948,015
負債・資本合計	2,723,709
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	356,052	356,052
資本勘定繰入	38,555	15,813
計	394,607	371,865

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	日野病院組合				
病院名	日野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,247 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	20	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	82.5	82.4	79.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	82.5	82.4	79.9
平均在院日数(一般病床のみ)		31.4	28.7	30.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,959,110			
1 経常収益	1,959,110			
(1) 医業収益	1,530,403			
入院収益	951,168			
外来収益	439,871			
診療収入計	1,391,039			
その他医業収益	139,364			
(うち他会計負担金)	62,589			
(2) 医業外収益	428,707			
(うち国・都道府県補助金)	45,296			
(うち他会計補助・負担金)	306,059			
(うち長期前受金戻入)	50,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,840,664			
2 経常費用	1,840,664			
(1) 医業費用	1,761,521			
職員給与費	932,607	60.9	62.1	78.9
材料費	261,086	17.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	130,778	8.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	130,069	8.5	11.4	6.0
減価償却費	158,628	10.4	9.5	11.7
経費	405,724	26.5	22.7	31.2
(うち委託料)	311,585	20.4	12.6	14.3
研究研修費	1,932			
資産減耗費	1,544			
(2) 医業外費用	79,143			
(うち支払利息)	20,245	1.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	118,446			
純損益	118,446			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.4		101.9	100.3
医業収支比率	86.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	86.4		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,425,604
1 固定資産	2,107,639
(1) 有形固定資産	2,107,639
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,317,965
(1) 現金及び預金	1,011,973
(2) 未収金及び未収収益	275,160
(3) 貸倒引当金()	616
(4) 貯蔵品	9,590
3 繰延資産	-
負債合計	2,328,129
1 固定負債	1,383,187
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,030,662
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	352,525
(7) リース債務	-
2 流動負債	373,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	165,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	63,534
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	129,181
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	571,865
(1) 長期前受金	1,002,769
(2) 長期前受金収益化累計額()	430,904
資本合計	1,097,475
1 資本金	454,219
2 剰余金	643,256
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	643,256
負債・資本合計	3,425,604
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.3
修正医業収益(千円)	1,467,814

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	507,282	368,648
資本勘定繰入	102,797	-
計	610,079	368,648

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。